

# 病害虫情報(第11号)3月予報

平成26年2月27日  
神奈川県農業技術センター所長

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。  
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。  
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

## 【内容】

- I 3月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 ..... 1
- II 3月の病害虫発生予報の内容とその根拠 ..... 6
- III 3月の気象予報及び気象の経過 ..... 8

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333  
テレフォンサービス TEL 0463-58-6612

※ テレフォンサービスは、平成26年5月末で終了します。

インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

\* 農薬に関する情報は、平成26年2月26日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

## I 3月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし  
[発生・防除時期] \_\_\_\_\_ 発生時期 ~~~~ 多発時期 ..... 感染時期 ←→ 防除適期  
[使用時期] 「収穫\*日前まで」を「\*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

作物名	病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
カンキツ	ミカンハダニ	—	○	越冬	←→			マシン油乳剤(97%, 98%)	*マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。
	かいよう病 (中晩柑)	—	○		..... 感染期 .....			(予)コサイド3000 [発芽前, -] 1,000倍 + クレフノン [-, -] 200倍 (予)ICボルドー66D [-, -] 25~200倍 等	
ウメ	かいよう病	—	○		..... 感染期 .....			【萌芽前】 Zボルドー [葉芽発芽前まで, -] 500倍 + クレフノン [-, -] 200倍 【萌芽後】 マイコシールド [21日, 4回] 1,500倍 等	・多発園では、早期から予防散布を行う。 強風雨時に感染するので、降雨前の散布を心掛ける。
	アブラムシ類	—	○					スミチオン乳剤 [14日, 2回] 1,000~2,000倍 チェス顆粒水和剤 [21日, 2回] 5,000倍 等	・落弁期に防除を行う。

# 病害虫情報

(H25・No. 11)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
チ	もち病	並	○			.....	感染期.....	ドイツボルドーA [14日, -] 500倍 等	・前年の多発園では必ず散布する。
	チャハマキ	—	○		幼虫・蛹		成虫	ハマキコン-N [成虫発生初期～終期, -] 150～250本/10a	・ハマキコン-Nは、成虫の発生初期から使用すると防除効果が高い。
	チャノコカク モンハマキ						←ハマキコン-N		
ヤ	カンザワ ハダニ	やや少	○	越冬				【開葉前】 オマイト乳剤 [14日, 2回] 1,500～2,000倍 【開葉後】 バロックフロアブル [14日, 1回] 1,000～3,000倍 等	・初期防除に重点をおく。 ・オマイトの萌芽期～展葉期散布は薬害を生じるので使用しない。
促	灰色かび病	やや多	○		~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)ポトキラー水和剤 [発病前～発病初期, - : ダクト内投入] 灰色かび病 : 10～15g/10a/日	・ポトキラーは発病前からの使用が効果的である。
	葉かび病	—	○	←→	←→	←→	←→	(予)セイビアーフロアブル20 [前日, 3回] 灰色かび病 : 1,000～1,500倍 (予・治)ポリオキシシンAL水和剤 [前日, 3回] 1,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 等	
成	コナジラミ類 タバコ コナジラミ	やや少	○					バリアード顆粒水和剤 [前日, 3回] 2,000～4,000倍 アニキ乳剤 [前日, 3回] 1,000～2,000倍 クリアザールフロアブル [前日, 2回] 2,000～4,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 等	・バリアードはアブラムシ類にも適用あり。 ・アニキはハモグリバエ類 (2,000倍) にも適用あり。 ・クリアザール (2,000倍) はトマトサビダニにも適用あり。 ・サンクリスタルはアブラムシ類・トマトサビダニ、うどんこ病 (300～600倍) にも適用あり。
マ	<b>【マルハナバチへの影響】</b> ▶農薬散布の際は、単箱を施設から出し、単箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。 ▶影響のある剤 ポリオキシシンAL (1日)、アニキ (1日)、アフエット (不明)								
ト	<b>【薬剤耐性菌の発生を防ぐために】</b> (この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載されているものです。) ▶QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いため1作での使用回数を制限することが望ましい。 ▶QoI剤 (アミスター20、ファンタジスタ) <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 単剤あるいはSDHI剤との混用の場合 : 1作1回</li> <li>▷ QoI剤を含む混合剤 (アミスターオブティ、ホライズン)、SDHI剤以外の殺菌剤との混用の場合 : 1作2回</li> </ul> ▶SDHI剤 (アフエット、カンタス) <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 単剤あるいはQoI剤との混用の場合 : 1作1回</li> <li>▷ QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合 : 1作2回</li> </ul>								

# 病害虫情報

(H25・No.11)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
促成	べと病	やや多	○	←→	←→	~~~~~	~~~~~	(予)ダコニール1000 [前日,8回] 1,000倍 (予)シマンダイセン 又は ペンコゼブ水和剤 [前日,3回] 600~800倍等	・過湿になると多発する恐れがあるため注意する。午後はできるだけ換気に努める。 ・ダコニールは灰色かび病にも適用あり。
	うどんこ病	やや多	○	←→	←→	~~~~~	~~~~~	(予)ダコニール1000 [前日,8回] 1,000倍 (予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期,-] 500~1,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル [前日,5回] 2,000倍等	・乾燥はうどんこ病の発生を助長する。 ・インプレッションは灰色かび病にも適用あり。 ・ベルコートは灰色かび病、菌核病にも適用あり。
キユ	アザミウマ類 ミナミキイロ アザミウマ	やや多	○	←→	←→			モスピラン顆粒水溶剤 [前日,3回] アザミウマ類、アブラムシ類：2,000~4,000倍 コナジラミ類：2,000倍	・コテツはハダニ類にも適用あり。
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ	やや少	○					コテツフロアブル [前日,3回] ミカンキイロアザミウマ、 ミナミキイロアザミウマ：2,000倍	
	アブラムシ類	並	○					ボタニガードES [発生初期,-] アザミウマ類：500~1,000倍 コナジラミ類：500倍 アブラムシ類：1,000倍等	
ウリ	<p><b>【薬剤耐性菌の発生を防ぐために】</b> (この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載されているものです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ QoI 剤と SDHI 剤は、薬剤耐性菌発生リスクが高いため 1 作での使用回数を制限することが望ましい。</li> <li>▶ QoI 剤 (アミスター20、ファンタジスタ) <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 単剤あるいは SDHI 剤との混用の場合：1 作 1 回</li> <li>▷ QoI 剤を含む混合剤 (アミスターオプティ、ファンベル、ホライズン)、SDHI 剤以外の殺菌剤との混用の場合：1 作 2 回</li> </ul> </li> <li>▶ SDHI 剤 (アフェット、カンタス) <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 単剤あるいは QoI 剤との混用の場合：1 作 1 回</li> <li>▷ QoI 剤以外の殺菌剤との混用の場合：1 作 2 回</li> </ul> </li> </ul>								

# 病害虫情報

(H25・No. 11)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
促	灰色かび病	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)ポトキラー水和剤 [発病前～発病初期, - : ダクト内投入] 10～15g/10a/日 (予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] 500～1,000倍 (予・治)ロブラール水和剤 [前日, 4回] 1,500倍 等	・発病部位は速やかに取り除き、施設外で適切に処分する。 ・インプレッションはうどんこ病にも適用あり。
	うどんこ病	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)タフパール [発病前～発病初期, -] 2,000～4,000倍 (予・治)トリフミン水和剤 [前日, 5回] 3,000～5,000倍 (治)カリグリーン [前日, -] 800～1,000倍 (治)サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍 等	・発病部位は速やかに取り除き、施設外で適切に処分する。 ・うどんこ病は、窒素過多や草勢低下のときに多発しやすいので、適正な肥培管理を行う。 ・タフパールには展着剤ニーズは使用しない。 ・カリグリーンには展着剤を加用する。
成	アブラムシ類	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	バリアード顆粒水和剤 [前日, 3回] コナジラミ類 : 2,000倍 アブラムシ類 : 2,000～4,000倍	
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	チェス顆粒水和剤 [前日, 3回] 5,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 等	
イ	アザミウマ類	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] 5,000倍 カスケード乳剤 [前日, 3回] ミカンキロアザミウマ : 4,000倍 等	
	ハダニ類	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	カネマイトフロアブル [前日, 1回] 1,000～1,500倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍 等	・カネマイトは新葉の葉裏に褐変症状の被害を生じることがある。
チ	【ミツバチへの影響】								
	▶農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。 ▶影響のある剤：アフェット（1日）、スピノエース（2日）								
	【ミヤコカブリダニ、チリカブリダニへの影響】								
ゴ	▶バリアード、スピノエースは影響あり。サンクリスタルは多少影響あり。								
	【薬剤耐性菌の発生を防ぐために】（この欄の記載農薬は、病害虫情報に掲載されているものです。）								
	▶Q○I剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いため1作での使用回数を制限することが望ましい。								
▶Q○I剤 (アミスター20、ストロビー、ファンタジスタ)				▶単剤あるいはSDHI剤との混用の場合：1作1回 ▶Q○I剤を含む混合剤（ファンベル）、SDHI剤以外の殺菌剤との混用の場合：1作2回					
▶SDHI剤（アフェット、カンタス）				▶単剤あるいはQ○I剤との混用の場合：1作1回 ▶Q○I剤以外の殺菌剤との混用の場合：1作2回					

# 病害虫情報

(H25・No. 11)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				3月			4月		
				上	中	下	上		
春 キ ヤ ベ ツ	灰色かび病	—	○	~~~~~				・発病株は、見つけ次第早めに除去する。	
	菌核病	並	○	←→	~~~~~	←→	~~~~~	(予)セイビアーフロアブル20 [3日, 3回] 1,000倍 (予・治)ロブラール水和剤 [7日, 4回] 1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [7日, 2回] 1,500倍	・雨天が多い場合には、予防に努める。また発病株は早期に抜き取り、ほ場外で処分する。 ・セイビアーは株腐病にも適用あり。 ・カンタスは株腐病にも適用あり。 等
	コナガ	やや少	△	~~~~~	~~~~~	←→	~~~~~	プレバソフフロアブル5 [前日, 3回] 2,000倍 フローバックDF [発生初期(但し、前日), -] 1,000~2,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [3日, 3回] 2,500~5,000倍 等	・スピノエースはアザミウマ類 (5,000倍)にも適用あり。

# 病害虫情報 (H25・No. 11) ..... 神奈川県農業技術センター

## Ⅱ 3月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
チャ もち病	少	並	1) 前年10月の発生が平年よりやや少であったため、菌密度は平年よりやや少ないと予想される。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
カンザワハダニ	少	やや少	1) 前年10月の発生は、平年よりやや多かった。(＋) 2) 前年10月の叩き出し落下虫数は、平年並であった。(±) 3) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(－)
促成トマト 灰色かび病	少	やや多	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
オンシツコナジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
タバココナジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
ハモグリバエ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成キュウリ べと病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
うどんこ病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(＋) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
アブラムシ類	少	並	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
オンシツコナジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
タバココナジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
ミナミキイロアザミウマ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
ミカンキイロアザミウマ	少	並	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)

# 病害虫情報 (H25・No. 11) ..... 神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成イチゴ 灰色かび病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
うどんこ病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
アブラムシ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
オンシツコナジラミ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
タバココナジラミ	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
アザミウマ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
ハダニ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(±)
<b>春キャベツ (横浜・藤沢地区)</b>			
菌核病	少	並	1) 秋冬キャベツでの巡回調査では、発生が平年並。(±) 2) 前年の11月～12月の降水量が平年並から平年より少なかった。(－) 3) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
<b>春キャベツ (横浜・藤沢地区)</b>			
コナガ	少	やや少	1) 横浜のフェロモントラップへの誘殺はなく、平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(－)
<b>三浦半島地区</b>			
<b>春キャベツ</b>			
灰色かび病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
菌核病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年より少ない。(－) 2) 早春キャベツでの発生が、平年よりやや多かった。(＋) 3) 前年の11月～12月の降水量が平年並から平年より少なかった。(－) 4) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(＋)
コナガ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 気温は平年より低く、降水量は平年より多い予報。(－)

(注) 「発生量」の表示 ..... 程 度：甚>多>中>少>無

平年比：多>やや多>並>やや少>少

「予報の根拠」 ..... (＋)：多発要因 (－)：少発要因

# 病害虫情報

(H25・No.11)

神奈川県農業技術センター

## Ⅲ 3月の気象予報(気象庁 地球環境・海洋部2月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

〈気温、降水量の各階級の確率(%)〉

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	40%	30%	30%
降 水 量	30%	30%	40%

〈気象の経過〉〔観測地 横浜地方気象台〕

2月第5半旬まで

気温は、1半旬は平年より高く、2～5半旬は平年より低かった。

降水量は、1, 4～5半旬は平年より少なく、2～3半旬は平年より多かった。

日照時間は、1～3半旬は平年より少なく、4～5半旬は平年より多かった。

\*梅の開花日:1月26日(平年2月4日)、積雪:16cm(8日),26cm(14日)

